

サクラを守ろう

クビアカツヤカミキリ 対策フォーラム



現在、府内ではサクラが

枯れる被害が広がっています。

その原因は、特定外来生物である

「クビアカツヤカミキリ」。

これからもサクラを楽しむために、

日ごろの管理の大切さを知るとともに、

私たちにできることを一緒に考えましょう。

参加無料
(申込要)

日時

2024年7月17日(水) 14:00~16:30
(13:30開場)

場所

エル・おおさか南館5階 南ホール

定員

130名(申込先着)

申込
方法

下記のフォームよりお申込みください。

大阪府行政オンラインシステム



締切 2024年7月16日(火) 15時

共催

大阪府・(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所
(環農水研)



造幣局の“桜守”
渡邊秀勝さん講演



おおさか生物多様性

サクラを守ろう クビアカツヤカミキリ 対策フォーラム

7/17(水)
14:00-16:30
(13:30開場)

プログラム

第1部

14:00 開会挨拶

14:05 特別講演 「桜の通り抜け」～管理と歴史～ (独)造幣局施設課 渡邊 秀勝さん

14:45 話題提供 クビアカツヤカミキリの生態と防除 環農水研生物多様性センター 山本 優一

15:05～15:20 休憩 **クビアカツヤカミキリの標本・防除に関する各種資材の展示(予定)**

第2部

15:20 パネルディスカッション

テーマ
「クビアカで分かってきたこと、
今できること」

パネリスト

- (一財)富田林市公園緑化協会
- 長居わくわくパークプロジェクトチーム 株式会社庭樹園
- 大阪城パークマネジメント共同事業体 大和リース株式会社
- 環農水研生物多様性センター 山本 優一

コーディネーター

- 環農水研調査役(日本ビオトープ管理士会近畿支部長) 池口 直樹

16:30 閉会

講演者プロフィール

造幣局施設課
渡邊 秀勝さん



平成3年に造幣局に入局。1か月間の研修の後、工作課管轄係(現在の施設課保全係)に配属され、貨幣の製造設備の点検・修理などが主な仕事だが、桜の維持管理も重要な任務のひとつ。入局以来30年以上、大阪の春の風物詩「桜の通り抜け」を、桜守のひとりとして守り続ける。



生物多様性センター
山本 優一
博士(農学)

生物多様性センターの職員として、大阪府でクビアカツヤカミキリが見つかった当初から、分布調査や防除技術の開発に取り組んでいる。近年は防除対策の普及にも力を入れている。

会場案内 エル・おおさか南館5階 南ホール
(〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14)

- Osaka Metroご利用の場合
: 谷町線「天満橋」駅下車(西へ300m)、堺筋線「北浜」駅下車(東へ500m)
- 京阪電車ご利用の場合
: 「天満橋」駅下車(西へ300m)、「北浜」駅下車(東へ500m)



お問い合わせ先

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎22階
大阪府環境農林水産部みどり推進室 みどり企画課 都市緑化・自然環境グループ
電話番号:06-6210-9557 E-mail:midorikankyo-g05@sbox.pref.osaka.lg.jp